

単元名 声に出して楽しもう1

配当時間 1時間

単元の目標 (1) 易しい文語調の短歌や俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。
(3) 言葉の響きやリズムに親しみ、音読したり暗唱したりしようとする。

標準的な展開例

04010116_001

【教材名】短歌・俳句に親しもう（一）（上 P.84～P.85）

【準備等】短歌や俳句の情景が分かる写真や資料

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1 何度も声に出して読み、言葉のまとまりや調子、響きを楽しむ。</p> <p>★短歌や俳句を音読したり、暗唱したりしよう。</p> <p>○区切りを確認し、リズムを意識しながら短歌・俳句を繰り返し音読する。</p> <p>○情景や作者の心情について想像し、話し合う。</p> <p>○情景を想像しながら気に入った短歌や俳句を音読したり暗唱したりする。</p>	<p>・3年生で学習した短歌や俳句を思い出し、親しみをもたせる。</p> <p>・原則として短歌は五・七・五・七・七、俳句は五・七・五でできていることを確認する。</p> <p>【評】五七調の語感やリズムに気を付けて音読・暗唱する活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・イメージを広げる手助けとなるように、写真などを用意するとよい。</p> <p>・添えられた大意を参考にするとよい。</p> <p>・解釈することよりも子どもなりに様子や心情を想像することができるように、分かる言葉を手がかりにイメージさせるようにする。</p> <p>・五七調の語感やリズムに気を付けて音読・暗唱させる。</p> <p>【評】区切りやリズムを意識しながら短歌や俳句を音読する活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>

【 備 考 】